

## 県立特別支援学校「『いのち』を守る強化月間」点検表 集計結果

\*各学校の「いのち」を守る月間の取組み状況を参考として、自校にいかしてください。

### 1 取り組みが十分に行われている点検項目

- ・事故の際の緊急連絡網ができているか
- ・避難訓練を定期的に実施しているか
- ・保護者の声を聞き、相談に応じたりカウンセリングをしたりする体制ができているか
- ・健康観察が担任により適切に行われ、欠席者等への対応が学校全体で適切に行われているか
- ・教師が積極的に声をかけ、耳を傾け、子どもの変化を見逃さないようにしているか
- ・学校保健委員会を開催し、関係者との情報交換や共通理解に努めているか
- ・教室や体育館・運動場等の施設・設備・器具・遊具等を定期的に点検しているか
- ・服薬が必要な児童生徒への対応が適切になされているか
- ・手づくり教材や教具を点検し、安全に使用しているか
- ・学校を離れての学校行事や部活動等における事故の際に、連絡体制ができているか
- ・校舎等の安全点検を定期的に行っているか
- ・教職員が健康診断を受診したり、心身の健康保持に努めている雰囲気職場にあるか

### 2 改善の必要性が高い点検項目

- ・地域の大人の協力を得て、生き方や考え方について語ってもらう機会を設けているか
- ・職員、保護者・地域住民の連携協力による地区内の安全点検等が行われているか
- ・PTAと連携した郊外巡視や乗車指導を行っているか

### 3 学校の特徴的な取組や成果、校内や地域の関係者等による話し合いの中で出された課題や改善点などの例 (○：取組や成果 △：課題や改善点)

- 隣接校との合同避難訓練の実施とプール共用に伴う事故等への対応についての共通理解
- 学校と寄宿舎に児童生徒が分散時の訓練（放課後、入浴時、夜間時の訓練等）
- 総合防災訓練（保護者への児童生徒引き渡し訓練）の実施
- 安全調整委員会を設けて、毎月ヒヤリハットの事例をもとに安全に対する共通理解を図っている
- 防犯ブザーやおんぶひもを各教室に設置し、緊急時に迅速に対応設置し、緊急時に迅速に対応できるようにしている
- △児童生徒（知的障がいのある）の安全対応能力の向上にどのように取り組んでいくか
- △児童生徒の障がいの状況から、不審者侵入を防ぐ、防犯カメラの設置が望ましい

### 4 「いのち」を守る強化月間の各学校作成『スローガン』

- ※「守ろう子どものいのち、創ろう安全な学校を」
- ※「自分自身を見つめ、生き方、在り方を考えよう」
- ※「楽しくプール学習ができるように、プールの安全点検を徹底しよう」
- ※「事故発生時の初動対応と緊急マニュアルを機能させよう」
- ※「定期的に学校内外の隅々まで、安心・安全を確認しよう」
- ※「安全に気をつけて生活しよう」
- ※「子ども達の安全を最優先し、毎日、登校することが楽しい学校生活をつくろう」
- ※「事故、ヒヤリハット事例の分析を行い、全職員で事故の未然防止に努めよう」
- ※「気持ちよく安全に学校生活を送ろう」